



チューモくん日記 #文房具～ノート 4～

秋田県立視覚支援学校オリジナルキャラクターのチューモくんです。

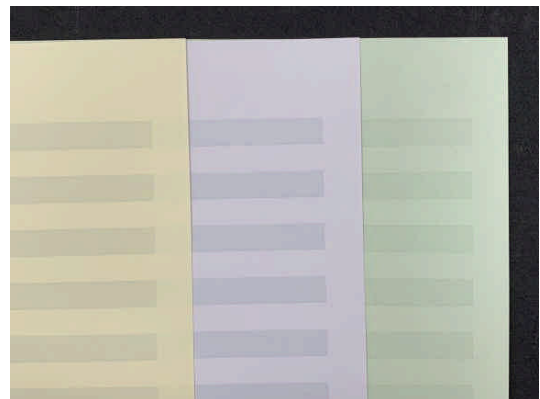
このシリーズでは、弱視児が使いやすい文房具を紹介していきます。

今回は、目にやさしいノートです。

大栗製紙から、目にやさしいノートが出ているというので調べてみたところ、種類がいろいろあったので、サンプル集を購入してみました。

「mahora (まほら)」というシリーズ名で出されているもので、ノートタイプとシートタイプがあります。

白い紙の反射がまぶしい。罫線以外の情報（日付欄など）が気になって集中できない。といった、発達障害の方からの声を取り入れたデザインになっています。



紙の色は、レモン、ラベンダー、ミントの3色から選べます。

罫線は、太い罫線と細い罫線が交互に引かれたタイプと、網掛けの帯になっているものの2種類があります。

弱視の人には、細い罫線は見えづらいかもしれません。太い罫線の間隔は10mmですので、その広さの罫線としては使えそうです。網掛けの帯は、8.5mmです。

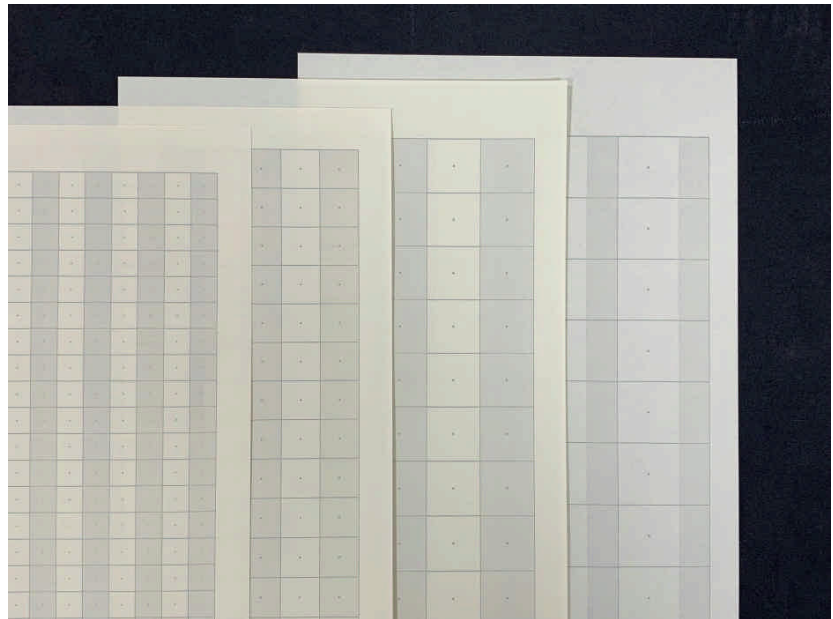


また、同じ3色の紙を使用した「まほら ゆったりつかう学習帳」のシリーズもあります。

10mm角で縦25マス、
15mm角で縦10マス、
20mm角で縦10マス、
24mm角で縦8マスの漢
字練習帳の4種類です。

網掛けとそうではない
行が交互にあるのは、以
前紹介した、日本ノート
(株)の「スクールライ
ンプラス 合理的配慮のた
めのノート」と同様に、
書いている行がずれず、筆算の位取りもしやすくなる配
慮です。

また、各マスの中心には、点が一打たれています。
これは、学習帳の方眼の中に文字のバランスを取るため
に、点線や細い線で描かれた十字リーダーがあると気にな
ってうまく文字が書けないという子どものために開発
された、「バランス中心点」とのこと。



「スクールラインプラス 合理的配慮のためのノート」は、罫線が太く強調されい
て網掛けも濃い色でしたが、「mahora」シリーズは、色合いも罫線も刺激がかなり
抑えられています。そのため、反射は抑えられてまぶしくないけれど、罫線は見え
づらいと感じる弱視の人也有可能かもしれません。

繰り返しになりますが、全ての人に、「これがベスト」という
文房具はありません。いろいろ試して、自分が使いやすいもの
を探してみましょう。

